

脂質成分によるメタボリックシンドローム予防作用に関する研究

キーワード： 中鎖脂肪酸、植物ステロール、 α -リノレン酸、メタボリックシンドローム、動脈硬化

人間文化創成科学研究科 自然・応用科学系 専門分野 臨床栄養学 近藤和雄

E-mail: kondo.kazuo@ocha.ac.jp URL: <http://pea.ieshl.ocha.ac.jp/kondo/default.htm> TEL:5978-5812

動脈硬化の予防には、脂質の量だけでなく脂肪酸の種類や脂質成分も考慮する必要のあることが分かってきました。様々な機能性をもつ油の開発により、毎日の食生活にうまく取り入れることで、肥満をはじめとしたメタボリックシンドロームの予防に役立つことが期待されます。

中鎖脂肪酸による体脂肪減少作用



門脈



エネルギーとして素早く燃焼

α -リノレン酸による血圧低下作用

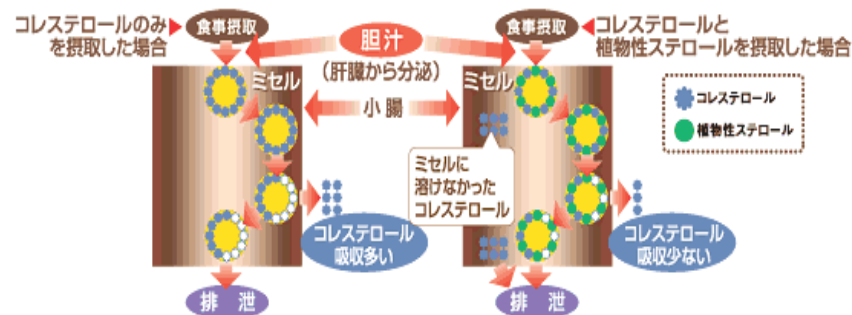


COOH

α -リノレン酸摂取 → フラジキニン ↑ → プロスタサイクリン一酸化窒素 (NO) ↑ → 血管拡張 → 血圧低下

植物ステロールによるコレステロール低下作用

<コレステロールの小腸での吸収と植物性ステロールによる吸収阻害>



共同研究：日清オイリオ株式会社